

ウェブサイトはこちら!



福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ



1 FOR ALL JAPAN 事務局

2017年

月刊 いちえふ。



11月

事務局からのご挨拶

私たちがウェブサイトを立ち上げ、「月刊いちえふ。」を発行してから2年が経過しました。作業員のみなさまの少しでもお役に立てるよう、応援されているご家族やご友人のみなさまにご安心いただけるように給食メニューやバスの時刻表、放射線データや暑さ指数のほか、作業員のみなさまがどういったお仕事をされているかを知っていただくインタビューを掲載してきました。

インタビューでは自身の作業に誇りを持って笑顔でご対応いただきました。仲間との絆を見せてくださったチームのみなさま、支えていただくサポーターとしてインタビューを受けてくださった方々もいます。

「月刊いちえふ。」のプレゼントの応募では、お子様がお答えしたことをお伝えくださった方、目立つようにカラフルな装飾をされた方もいらっしゃいました。過去最大で263人の方からご応募いただいたこともあり、みなさまのご参加をうれしく思っています。

お役に立てるように一生懸命取り組む中で、みなさまのお声や笑顔に励まされてきました。これからみなさまが必要とする情報発信に取り組んでまいりますので、ご意見などたくさんお寄せください。

<https://1f-all.jp/> 1F●R ALL JAPAN 魔炉のいま、あした



INDEX

■事務局からのご挨拶

■1Fを守る仲間たち

- 報徳バス
ドライバーのみなさん
- 給油所と1F構内の建物改修の
工事に携わったみなさん

■いちえふのいま

1号機からガレキを撤去
するための作業を進めています

■いこいの時間

絵合わせ

プレゼント

福島名産の
お菓子の詰め合わせ



とびっくす



インフルエンザの予防接種受付中

今年もインフルエンザの予防接種を作業員のみなさまを対象に実施しています。場所や時間などの詳細については各企業の担当の方にご確認ください。



広めの車間距離ヨシ!

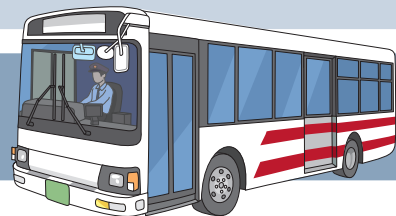
だんだんと日が短くなってきました。夜は視界も狭くなります。その分、判断も遅くなるので車間距離を多めにとりましょう。



復興なみえ町十日市祭(11月25日、26日)

今年は、浪江町で開催します。
ふるさとの祭り2017 in 浪江も同時開催!
日程: 11月25日、26日 場所: JR浪江駅近郊





バスでの元気な挨拶で 力を分かち合いましょう

1Fの構内外で多くの作業員がバスを利用しており、決まった時刻にバスが運行することで、予定通りに作業を進めることができます。バスの運転手の方々もまた、廃炉工事を進める大切なメンバーです。今回は、バスの運行・運転に携わっている報徳バスのみなさんにお話をうかがいました。

—— お仕事の内容を教えてください。

海辺さん：1F構内でシャトルバスを運転するほかに、視察や見学で1Fにいらっしゃる関係者やお客様のためのバスも運転しています。入社したのは震災後の2011年9月ですが、そのときは1Fに入れなかったんで、いわき、湯本、2Fなどを結ぶバスの運転をしていました。現在は11人が交代で勤務しています。

長谷川さん：報徳バスは、いわきタクシーのグループ会社で、震災前まで私はタクシーの運転手をしていました。震災後の2011年6月からは、帰還困難区域へ一時立ち入りする地元の方を運ぶ仕事をしたり、立ち入りの条件をどうするかなどを、関係者の方々と話し合って決める仕事もしました。

Message

ここで働く人たちはみな家族と同じ。今後も
和気あいあいと頑張っていきましょう。



(写真左から)

伊藤 重人さん 矢萩 栄司さん 長谷川 弘之さん 海辺 康博さん

みなさんの顔を見ると 自然に挨拶の声が出てくる

—— この仕事をしていてよかったと思うのは
どういうときですか。



矢萩さん：お客様がバスに乗るとき、私が「おはようございます」と声をかけると、みなさん「おはようございます!」と元気で大きな声が返ってくるのがうれしいですね。お互いに元気をやりとりしているような気分になり、「今日も一日いい仕事ができそうだ」と感じます。

伊藤さん：仕事帰りにバスに乗るみなさんの表情を見ているのが楽しいですね。行くときとはずいぶん表情が違います。「今日も一日無事に仕事が終わった」という気持ちだと思いますが、にこやかな表情で乗ってこられます。自然と私のほうも、「お疲れさまでした」と声が出てきます。

つと お勤め先

株式会社報徳バス

1963年創業。いわきタクシーグループの貸切バス部門。いわき市・郡山市のタクシー部門、いわき市・郡山市・さいたま市の貸切バス部門などがある。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <https://1f-all.jp/interview/40/>

41 給油所と1F構内の建物改修の 工事に携わったみなさん

GS



自分たちの建てた施設が残ることに ロマンや生きがいを感じる

1F 構内のふれあい交差点に、この秋、新しく給油所（ガソリンスタンド）が完成しました。これまでとくらべて、安全に多くの燃料を保管できるようになりました。今回は、この給油所の工事および1F 構内の建物の改修工事を担当している、中里工務店とその協力会社の方々にお話をうかがいました。

—— まず、給油所の工事について教えてください。

石井さん：これまで、屋根のない給油所がありましたが、新しい給油所、詰替所、注油所という合計3つの建物と付帯設備を設計・施工してつくりました。給油所では、ガソリンと軽油を入れることができます。

—— 建物改修チームは、どういうお仕事をしているのですか。

篠崎さん：大型機械を使い、地震で壊れた建物を改修して、建物を使用できるようにします。

渡邊さん：私は工事担当という立場で、協力会社に仕事を割り振ったり、仕事を進めるための計画書を作成したりしています。

佐藤さん：私たち良建工業は、工事に必要な足場の組み立てと解体、鉄骨工事などを行っています。



チームで力を合わせ、廃炉に向けて1F内の工事を行っている

メッセージ

一人でできることは限られていますが、力を合わせてがんばりましょう。



(写真左から)

さとう りょう
佐藤 諒さん
いし い けん じ
石井 賢治さん

しのざき やす し
篠崎 靖史さん
まつ い ひでみつ
松井 秀光さん

わたなべ とおる
渡邊 徹さん
おおさわ かずひと
大澤 一仁さん

—— ほかの現場とはどういう点が大きく違いますか。

大澤さん：1F 構内では、作業での注意点がわかりやすく具体的に示されるなど、安全に対する意識が一步進んでいると感じます。

はいろ かか
廃炉まで関われるのは光栄



—— どんなときに仕事にやりがいを感じますか。

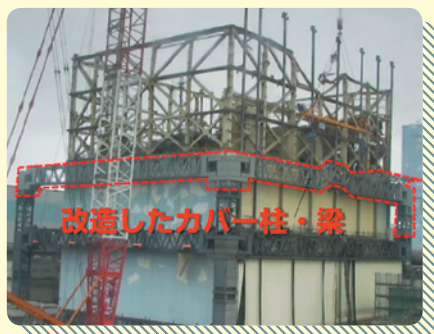
松井さん：私たちが建てた建物が、ずっとここに残っていくと考えると、男のロマンや生きがいを感じますね。ぜひ、末永く使ってほしいと思います。

お仕事内容

給油所と1F構内の建物改修の工事

中里工務店が中心となり、良建工業や三瓶工務店などの地元の協力会社とともに工事を行っている。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <https://1f-all.jp/interview/41/>



1号機からガレキを撤去 するための作業を進めています

10月末から1号機に防風フェンスを設置する作業を開始しました。
これはガレキの撤去作業時に、放射性物質を含んだほこりなどが舞い
上がることを抑えるためのものです。

いこいの時間

絵合わせ

今月は絵合わせです。絵は南
会津郡の景勝地「塔のへつり」
の紅葉です。6つの絵の中
には同じ絵が2つだけあります。
おわかりになりますか？



▶ 応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

▶ 今号のプレゼント

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に
必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 11月20日～12月4日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

福島名産のお菓子の
詰め合わせです。

※商品の写真は異なる場合が
ございます

協力:日本マーケティング
協会様



1F●R
ALL JAPAN
廃炉のいま、あした

ウェブサイトの紹介

<https://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみな
さんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年
10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイト
でも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2017年11月号

【発行日】2017年11月20日

【発行】

1 FOR ALL JAPAN 事務局

(東京電力ホールディングス SC室)

【お問い合わせメールアドレス】

info@1f-all.jp